平成20年 新しい年に向けて

大山町長　山口隆之

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

昨年は記録的な暖冬により、スキー場も大変厳しいシーズンとなりましたし、大山の少雪が春の田植え時期の水不足にも影響しました。また、9月には中山地区に局地的な豪雨が降り、大きな被害をもたらしました。いずれにしても、地球温暖化の影響と思われる不安定な気象状況が気になるところです。

さて、昨年の大山町は新町として大きく前進した年だったと思います。工事を進めておりました光ケーブルの敷設事業が完了し、高速インターネットの利用やケーブルテレビの視聴が可能になりました。8月からは大山町チャンネルの本格放送開始により、町内の行事や議会放送など大山町の身近な情報を提供できるようになりました。多くの皆さんにご覧いただいており喜んでいます。今年は、さらに番組内容を充実させ、より一層大山町に関心を寄せていただけるよう取り組んで参りたいと思います。

9月29日には待望の高速道路が大山ＩＣまで開通しました。国道9号とのアクセス道路である県道も併せて開通し、国道9号の渋滞緩和や移動時間の短縮など、日常生活の利便性が大きく向上しました。さらには、この開通により高田工業団地に企業の進出が決定するなど、地域経済の活性化にも大きな効果が期待できます。今年3月末には、名和ＩＣまで開通しますし、その先の区間も順調に事業が進んでおり、早期の完成を強く要望していきたいと思います。

また、昨年の県下の一大イベント「第9回全国和牛能力共進会」も大成功を納め、肉牛の部や畜魂祭の会場となった大山町にも全国からたくさんの方にお越しいただきました。多くの町民の皆さんに参画していただいたおかげで、大山町の素晴らしい景観や資源を情報発信することが出来たと思います。この成果を実践2年目を迎える「大山恵みの里づくり計画」の取り組みにつなげていかなければならないと思います。

合併して3年が経ちますが、町民の皆さんのご理解とご協力により順調に新しいまちづくりが進んでいることを感謝しております。しかし、予想以上に厳しい地方財政の状況や、新町として実践してみて見えてくる課題など、克服しなければならないこともたくさんあります。現在、20年度に向けて組織・機構の見直しを中心とする行財政改革を提案しております。ぜひ皆さんのご意見をお寄せください。

今年は大山に充分な積雪があり、多くのスキー客に訪れていただき、春の雪解けが大山山麓に豊かな恵みを齎(もた)らせてくれることを期待しています。今年も大山町の更なる飛躍を目指して職員共々精一杯頑張って参ります。町民の皆さんのより一層のご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。

何はともあれ健康が第一。今年一年健康で明るい年となりますことをご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。